

# 教科等研究会（小学校図工部会）

## 令和3年度 研究活動のまとめ

### 1 研究テーマ

みんなで楽しく『見つめ・感じ・つくりだす』授業づくり

### 2 研究経過

第1回			第2回			第3回			第4回【中止】		
6/7	26人	滝尾小学校	8/4	甲佐中学校	実技研修会	10/29	広安西小学校	上野沙耶加 教諭	1/27	甲佐中学校	片岡佳奈子 教諭

### 3 研究の概要

#### (1) 研究の内容

##### ① テーマについて

本年度の上益城郡教科等研究会全体テーマ「児童生徒一人ひとりが輝く『分かる・できる』『楽しい』授業づくり」を受け、一昨年度設定したテーマを更に継続して研究を進めていくことにした。図画工作科の目標は、「表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成すること」を目指している。しかし、図画工作科の授業において、「不器用だ」「不得意だ」と苦手意識をもって過ごす子どももいる。そのような子どもたちも全員が参加でき、理解し、習得し、活動していくことができるようにすることが求められる。そのため、授業のUD化の視点を持ち、「焦点化」「視覚化」「共有化」を図り「みんなで楽しく『見つめ・感じ・つくりだす』図画工作科の授業づくり」を研究していくこととした。

また、『分かる・できる』『楽しい』授業づくりのためには、児童が興味をもつように教材・教具との出会わせ方や全員が参加できるための手立てや、児童それぞれの見方や考え方が生かされる手立てを研究していく必要があると考えた。さらに、それらに役立てるための ICT を有効に活用する場面や方法を研究していきたいと考えた。

##### ② 実技研修

実技研修会では、小・中学校合同の研究会という利点を活かし、「小学校低学年から中学校までの絵画指導法」をテーマに小学校2名・中学校1名の計3名の部会員による発達段階を踏まえた指導方法の紹介・実技研修を行った。(小学校【低】：尾方里衣教諭(矢部小学校)、小学校【高】：本田美幸教諭(嘉島西小学校)、中学校：嘉古田剣吾教諭(益城中学校)) 図工・美術を指導するにあたって、指導者が小学校から中学校までの児童・生徒の発達や指導内容を具体的に理解しておくことは、指導力向上に必要である。指導者が見通しをもった指導を行うことで、子どもたち一人ひとりが学習内容を理解し、習得し、楽しく活動できると考え、この研修を行った。

小学校低学年では、クレヨン・パスと絵の具を組み合わせた表現の指導の紹介、小学校高学年では、風景画の遠近法指導「手前・中間・奥」を意識した線の太さや色の濃さを描き分ける指導の紹介、中学校では、小学校高学年で指導した遠近法を更に発展させ、透視図法の知識を活用した表現



小学校低学年の指導について  
尾方里衣 教諭



小学校高学年の指導について  
本田美幸 教諭



中学校の指導について  
嘉古田剣吾 教諭

の紹介を行った。それぞれの先生方の指導から発達段階のつながりを学ぶことができた。

講義の後は、紹介された指導内容を実際に体験する実技研修を行った。小・中学校の教員が互いにそれぞれの授業を受け、学びを深めることができた。中学校の遠近法の実技研修では、タブレットを活用し、学校内の風景写真に線を書き込み、消失点を見つけるなどし、ICTの効果的な活用も学ぶことができた。



タブレットを活用し、消失点を見つけて風景画を描く様子(中学校の指導)

### ③ 授業研究

本部会では、小学校・中学校合同で2回の研究授業を行った。さらに、来年度の県大会に向けて、小学校では低・中・高学年部と別れて、県大会テーマに合わせた授業の在り方を検討し、会員が各校で実践していった。

#### 【県大会 研究の視点(案)】

- (1) 児童生徒が自信をもって制作に取り組める題材の工夫
  - ア 児童生徒の発想・構想が生かされる題材の工夫
  - イ 失敗を恐れず制作に取り組める題材の工夫
  - ウ 生徒の実態に応じた教材の設定の工夫
- (2) 児童生徒が自信をもって制作に取り組める授業展開の工夫
  - ア 分かりやすい授業展開の工夫
  - イ 児童生徒が見通しをもつことができる授業展開の工夫
- (3) 自分の思いを表現できる、自由に言える人的環境や学習空間づくり

また、本年度は、教科等研の第4回が中止になったため、中学校の授業は撮影して会員に動画を配付し、意見を寄せてもらう形で研究授業に代えて行った。

#### 【小学校での研究授業】

広安西小学校 上野 沙耶加 教諭 第1学年 「ちぎって はって」

#### 【中学校での研究授業(動画視聴)】

甲佐中学校 片岡 佳奈子 教諭 第1学年 「絵文字」

## (2) 成果と課題

- 実技研修では、小中学校9年間を通した指導内容を、具体的に学ぶことができた。今後も小中連携して、児童・生徒へのつながりのある指導の充実を図りたい。
- 教材との出会わせ方、目的意識のもたせ方、作品鑑賞(発表)の場の設定など、児童にとって分かりやすく、ワクワクする取り組みをすることが、すべての児童の学ぶ意欲につながった。
- ICTの効果的な活用で、視覚化され児童の理解の手立ての一つとなった。また、ロイロノートの活用で、自分や友達の作品を鑑賞することができ、作品の良さを全員で共有することができた。
- △ 研究授業では、児童が何について学んでいるのか全員が理解できるように、より「焦点化」した授業展開の工夫が必要であった。
- △ 来年度の県大会に向けて、新学習指導要領・県大会の研究の視点を受けての授業づくりや実践を更に進めていきたい。

## 4 実践事例

### (1) 授業の概要

【小学校での研究授業】 広安西小学校 上野沙耶加 教諭 第1学年2組

#### 図画工作科 「ちぎって はって」

本教材は、色画用紙をちぎってできた偶然の形から、感じたことや想像したことを膨らませて、絵に表現するという教材である。導入時に教師が手本を見せることで、児童は失敗を恐れずに表現を楽しんだり、画用紙の多様なちぎり方を提示する際に「デコボコ」「シャッ」などの音で表して児童がイメージしやすかったりするなどの工夫を行った。また、数色の色画用紙を準備し、児童に色を選択させることによって意欲の向上を狙った。

形から想像する活動では、互いの作品を鑑賞する際にタブレットを活用した。児童が自分で撮影した作品を担任へ転送し(ロイロノート)、電子黒板を見ながら、全員で鑑賞ができるよう工夫をしていった。

このような多くの工夫を取り入れ「どの子も楽しく」参加できる授業を展開していった。



(2) 学習構想案 (抜粋)

1 題材構想

題材名	ちぎって はって		
題材の目標	(1) ・ちぎった色画用紙の並べ方や貼り方を試し、表し方を工夫して表している。 ・ちぎった色画用紙を並べたり組み合わせたりすることを通して、形や色の感じ、それらの組み合わせによる面白さに気づく。 (2) ・ちぎった色画用紙の形や色などをもとに表したいことを見つけ、楽しく発想や構想をしたり、自分の見方や感じ方を広げたりする。 (3) ・進んで材料をちぎったり組み合わせたりして作品に表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色、材料などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。		
題材の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①ちぎった色画用紙の並べ方や貼り方をいろいろ試すなど、表したいことをもとに工夫して表している。 ②ちぎった色画用紙を並べたり貼ったりすることを通して、形や色の面白さに気付いている。	①ちぎった色画用紙の形や色などをもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	①ちぎりで絵で表すよさを味わいながら、楽しく取り組もうとしている。
題材終了時の児童の姿(単元のゴールの姿・期待される姿)			
色画用紙をちぎってできた偶然の形から、感じたことや想像したことを膨らませて自分の表したいもののイメージをもち、創意工夫して表現しようとする児童			
題材を通した学習課題(題材の中心的な学習課題)		本題材で働かせる見方・考え方	
ちぎった画用紙を組み合わせて絵に変身させよう		色画用紙をちぎってできた形から想像力を働かせ、形や色の特徴を基に表したいことのイメージをもち、新しい意味や価値をつくりだすこと	

2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所(内容、指導事項等)				
小学校学習指導要領 第1学年及び第2学年 (知識及び技能) (共通事項) (1) ア、[A表現] (2) イ (思考力、表現力、判断力等) (共通事項) (1) イ、[A表現] (1) イ				
教材・題材の価値				
本題材は、色画用紙を大小様々にちぎってできた紙の形や色から、表したいことを思いつき、表し方を工夫しながら台紙の画用紙に貼って絵に表していくものである。形を何かに見立てたり、並べたり、組み合わせたりすることで、発想を広げて自分の表したいものを見付けたり、自他の作品の表現のよさやおもしろさを感じ取ったりすることで、自分の表現をさらに広げることができる題材である。				
本単元における系統				
さわってかくの きもちいい!		せんのかんじ いいかんじ		ちぎって はって ほかしあそびで
児童の実態(単元の目標につながる学びの実態)				
調査内容	とても	まあまあ	あまり	ない
図工の学習は楽しい。	86%	7%	0%	7%
いろいろ試しながら作品をつくらせている。	64%	29%	7%	0%
友だちの作品をみて、よいところをみつけることができる。	57%	28%	11%	4%
図工の学習を楽しんでいる児童がほとんどである。アンケートの記述から「絵の具で描くことが楽しかった」「砂遊びが楽しかった」など、初めてのことや体験的な学習を楽しんでいることが分かった。「何を描いたら(作ったら)よいか分からない」という理由から、楽しくないと答えた児童が2名いる。題材の提示の仕方や参考作品の紹介などの工夫を行い、児童が見通しをもって活動に取り組むことができるようにする必要がある。また、活動の際に、いろいろと試しながら作っているという児童も多い。一方で、「試しても(新しいアイデアが)浮かばない」という意見もあった。鑑賞に関しては、「友だちの作品を見るのは好きだが、よいところが思い浮かばない」という児童が4名いた。				

3 指導に当たっての留意点

- 偶然にできた形の面白さに気づき、どのような作品を作りたいかを深く考えることができるように、色画用紙をちぎり並べたり、組み合わせたりしてちぎった色画用紙をものに見立てる活動を十分に取り入れる。
- 自分とは違った見方や感じ方と出会い、よさを自分の表現に取り入れたりイメージを広げたりすることができるように、ちぎった色画用紙が何に見えるかを友達と交流する場を設定する。
- 自他の作品の表現のよさや面白さを感じ取ることができるように、自分の作品の工夫した点を話したり、友達の作品のよさを伝え合ったりする場を設定する。

#### 4 本時の学習

##### (1) 目標

ちぎった紙の形や、組み合わせから見える形に興味を持ち、作りたいもののイメージをもつことができる。

##### (2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	20分	<p>1 題材に出会い、本時の活動への見通しをもつ。</p> <p>①色画用紙を大小様々な形にちぎることを知る。 ◇でこぼこにちぎるとおもしろい形ができそう。 ◇大きくちぎったり小さくちぎったりできるんだ。</p> <p>②色画用紙をちぎる。 ◇おもしろい形にちぎれたな。 ◇大きくちぎったから、今度は小さくちぎってみよう。</p> <p>③教師がちぎった色画用紙が何に見えるか考える。</p>	<p>○教師が実際にちぎって見せ、様々なちぎり方が分かるようにする。</p> <p>○画用紙をちぎる方法(大きさや向き)を確認し、様々な形や大きさにちぎることができるようにする。</p> <p>○児童が意欲を持って取り組むことができるように様々な色の画用紙を用意しておく。</p> <p>○色画用紙を大小様々な形にちぎらせる。</p> <p>○黒板にちぎった色画用紙を掲示し、何に見えるかを問う。</p>
		<p><b>【めあて】ちぎったいろがようしが、なにに見えるかかんがえよう</b></p>	
		<p><b>【学習課題】色画用紙をちぎり、できた形をものに見立てる。</b></p>	
展開	20分	<p>2 課題に取り組む</p> <p>①ちぎった色画用紙を見立てる。 ◇とんがっているところが、鳥のくちばしみたい。 ◇ねこのみみに見えてきた。 ◇びっくりかえしたら、何になるかな。</p> <p>②何に見立てたか全体交流する。 ◇私には○○に見えたけど、他の見方もあるんだな。 ◇細長いところが、しっぽにも見えるね。</p> <p>③ちぎった色画用紙を組み立ててどのようなものが作れるか考える。 ◇さっきは、ねこだったけど、角をつけると別の動物にも見えてきた。 ◇この色画用紙をくっつけると、船になりそう。</p> <p>.....</p> <p><b>【期待される学びの姿】</b> ちぎった色画用紙を並べたり組み合わせたりして、いろいろ試しながら物に見立てている姿</p> <p>.....</p>	<p>○ちぎった紙の向きを変えたり、裏返したりすることで、見え方が変わることを伝える。</p> <p>○ちぎってできた形を何かに見立てている児童を取り上げ、表現への意欲を高める。</p> <p>○友達の見聞を聞くことで、様々な見立て方が分かるようにする。</p> <p>○ちぎった形を複数組み合わせることで、さらに異なる見え方になる面白さを感じ取ることができるようにする。</p>
		<p><b>【具体の評価規準】</b> 思① ○ちぎった色画用紙の形や色、その組み合わせなどから想像を広げ、表したいものを考えている。 (観察・発言)</p>	
		<p><b>【到達していない児童への手立て】</b> ○ちぎった色画用紙が何に見えるか個別に尋ね、考えを確かめていく。</p>	
終末	5分	<p>3 活動の振り返りを行い、次時の活動への見通しをもつ。</p>	<p>○試してみて、楽しかったことやうまくいったこと等を発表させることで、活動のよさに気づき、次時への意欲が高まるようにする。</p>